

氏 名：堀込 由紀
学 位 の 種 類：博士(看護学)
学 位 記 番 号：博看護第13号
学位授与の要件：学位規則第4条第1項該当
学位論文題目：タスク・シフト/シェアに資する看護師の看護補助者との協働に関する
研究—急性期一般病棟に勤務する看護師の指示出しの実践状況と個人特
性・組織特性との関連—
研究指導教員：佐々木 美奈子
研究副指導教員：李 廷秀
論文審査委員：(主査) 廣島 麻揚 (副査) 谷本 真理子
(委員) 西村 礼子 (委員) 手島 恵

論文審査結果の要旨

堀込由紀氏の博士論文は4名の審査委員によって、書面による審査及び口頭試問により厳正に審査された。

本報は、急性期一般病棟に勤務する看護師を対象に、看護補助者への直接ケアに関する指示出しの実践状況を明らかにするとともに、その実践と看護師の個人特性および組織特性との関連を検討したものである。

全国の400床以上の医療施設157施設に勤務する2年目以上の看護師1,644名の回答(有効回答率18.2%)を分析対象としている。実践状況では、「患者の安全への配慮」や「患者状態の判断」は高率で実施されていた一方、「指示の復唱依頼」「メモを添えた伝達」「指示後の評価の伝達」「記録」などは実施率が低かった。また探索的因子分析を実施し、【的確な指示出し】と【チーム実践の促進】の2因子構造からなる看護補助者への直接ケアの指示出しの尺度を作成している。そして、この2つの下位尺度を目的変数とした重回帰分析を実施し、下位因子の関連要因を明らかにしている。

医療分野においてタスク・シフト/シェアが今後益々重要になる中、本研究が示す結果は、よりよい看護師と看護補助者のタスク・シフト/シェアを推進するための科学的根拠に基づく示唆を示しており、大変有益なものとなっており、意義深く「博士論文として認定できる」と判断する。

令和8年2月14日

論文審査委員(主査)氏名 廣島 麻揚